

## 4年生社会科

# 「自然災害からくらしを守る」

## 発問及び板書計画(案)

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

〒790-8574 愛媛県松山市土居田町797-2

TEL: 089-972-0034 (代表)

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>

発問及び板書計画(1/3 自然さい害の起こりやすい国土とか川かんきょうがもたらすおんけい)

※水色の文字については、小学4年生にて学習する漢字を示す。

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>学習課題の把握 (10分)</p>	<p>T：この写真を見てください。何の写真かわかりますか？</p> <p><b>黒板貼り付け：“【写真】重信川（中流域）”</b>  <b>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】干潟”、“【写真】湧水”、“【写真】河川敷公園（グラウンド）”、“【写真】滝”、“【写真】マラソン大会”、“【写真】いもたき会”</b></p> <p>(C：重信川です。)                  (C：干潟です。)                  (C：湧水です。)                  (C：公園です。)                  (C：滝です。)                  (C：いもたき会です。)                  (C：マラソン大会です。)</p> <p>T：はい、そうですね。このようにいろいろな場所がある重信川はみなさんにとってどんなところでしょう。                  (C：自然がたくさんあるところです。)                  (C：遊ぶところがあって、楽しいところです。)</p> <p>T：そうですね。川では魚をとって遊んだり、いろいろな景色を楽しんだりすることができます。普段は水の少ない重信川ですが、少しでも自然環境を残すように川の中に水面がつくられていますね。ではこの写真をみてみましょう。写真をみて、どう思いますか？</p> <p><b>黒板貼り付け：“【写真】ふだんの重信川（平成29年9月）”、“【写真】洪水時の重信川（平成29年9月）”</b></p> <p>(C：水があふれそうでこわいです)                  (C：川は楽しいところばかりではないと思いました)</p> <p>T：そうですね。先生もそう思います。今日は川と災害について勉強しましょう。</p> <p><b>※“学習課題”を黒板に書く（もしくは事前に“学習課題”を記載したマグネットシート等を黒板に貼る）</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                 学習課題：大雨が降ると川ではどんな災害が起きるのだろう             </div>	 <p>【写真】重信川（中流域）</p> <p>【写真】干潟</p> <p>【写真】湧水</p> <p>【写真】河川敷公園（グラウンド）</p> <p>【写真】滝</p> <p>【写真】マラソン大会</p> <p>【写真】いもたき会</p> <p>【写真】ふだんの重信川（平成29年9月）</p> <p>【写真】洪水時の重信川（平成29年9月）</p>	<p>●<b>重信川周辺の写真であることを想起させるには・・・</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“泉”や“干潟”が写真に写っている、“いもたき会”や“マラソン大会”が行われる場所など、児童に想起させるためのヒントを与える。</li> </ul> <p>●<b>“洪水”の定義</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の水位や流量が異常に増大することにより、平常の河道から河川敷内に水があふれること、及び、堤防等から河川敷の外側に水があふれること。</li> <li>・水文学における「洪水」の定義では、降雨や融雪などにより河川の水位や流量が異常に増大すること。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※気象庁HPより</p>
<p>グループで話し合う (10分)</p> <p>発表する (15分)</p>	<p>T：それではみなさん、グループになってください。大雨が降ると、川ではどのような災害が起こるか考えてみてください。また、災害が起こったら、どのような被害が起こるかも、考えてみてください。</p> <p><b>※グループになり、児童が話し合う時間を設ける（10分程度）</b></p> <p>T：それではみなさん、考えたことを発表してください。</p> <p>(C：大雨がふると、川の水があふれて、家や道路が水につかります。)                  (C：川の水があふれて道路が水につかると、車が動かなくなるのではないのでしょうか。)                  (C：川の水があふれると、田んぼや畑が水につかってしまって作物がダメになってしまいます。)                  (C：重信川の山の方では、山やがけが崩れると思います。)</p> <p><b>※グループごとに発表する時間を設ける（15分程度）</b></p>		<p>●<b>重信川流域で発生する災害を想起させるには・・・</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重信川は東温市の“東三方ヶ森（ひがしさんぼうがもり）”の山から海まで流れていること、川の流れる“場所”によって発生する災害が異なることなど、児童に想起させるためのヒントを与える。</li> </ul>


配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等												
学習の まとめ (10分)	<p>・重信川は普段は、美しく豊かな自然を与えてくれるが、時には大きな災害をもたらすことがある</p> <p>・水害は大きな被害をもたらし、あらゆる生活に大きな影響をあたえる</p> <p>T：では、こちらをみてください。</p> <p>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【図】水害の被害指標分析の手引き”、“【写真】洪水時の重信川（平成13年6月）”、“【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害（土砂災害 上流）”、“【写真】平成16年台風18号 高潮災害（香川県高松市）”、“【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害（土砂災害 下流）”、“【写真】平成16年台風23号 波浪災害（高知県室戸市）”、“【写真】洪水後の状況（重信川 平成11年9月洪水時）”、“【写真】浸水状況（重信川 平成10年10月洪水時）”</p> <p>※写真資料やイラストを使いながら、児童の回答を確認する（10分程度）</p> <p>T：大雨が降ると、川では水があふれて、家や道路が水につかかってしまうことがあります。川から水があふれて、みなさんのひざ上やこしくらいの高さまで水がくると、家の中に水が入ってきて、停電が起こったり、電車が動かなくなったりするおそれがあります。田んぼや畑が水につかると、お米や野菜が被害を受けてしまいます。</p> <p>T：また、山の方では、雨がたくさん降ると、土の中に水が入り、このように山が崩れて「土石流」や「がけ崩れ」といった「土砂災害」が起こることがあります。土砂災害は、一瞬で人や家が巻き込まれることもある恐ろしい災害です。海の方では、台風がきたときに海面が異常に高くなる「高潮」や、高い波がうねりとなってやってくる「波浪」などが起こることがあります。</p> <p>T：私たちがふだんから慣れ親しんでいる重信川でも、最近では平成29年の9月の台風で、写真のように川の水があふれそうになりました。おうちの人の携帯電話も緊急アラームが鳴ったのではないのでしょうか。先生の携帯電話も鳴りました。</p> <p>T：川は、ふだんは楽しい場所で、美しく豊かな自然を与えてくれますが、時には大きな災害をもたらすことがあります。水害は、大きな被害をもたらし、あらゆる生活に大きな影響を与えます。</p>	<p>教材</p>  <p>【図】水害の被害指標分析の手引き</p>  <p>【写真】洪水時の重信川（平成13年6月）</p> <table border="1" data-bbox="2018 966 2463 1764"> <tr> <td>写真</td> <td>写真</td> </tr> <tr> <td>【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害（土砂災害 上流）</td> <td>【写真】平成16年台風18号 高潮災害（香川県高松市）</td> </tr> <tr> <td>写真</td> <td>写真</td> </tr> <tr> <td>【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害（土砂災害 下流）</td> <td>【写真】平成16年台風23号 波浪災害（高知県室戸市）</td> </tr> <tr> <td>写真</td> <td>写真</td> </tr> <tr> <td>【写真】洪水後の状況（重信川平成11年9月洪水時）</td> <td>【写真】浸水状況（重信川平成10年10月洪水時）</td> </tr> </table>	写真	写真	【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害（土砂災害 上流）	【写真】平成16年台風18号 高潮災害（香川県高松市）	写真	写真	【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害（土砂災害 下流）	【写真】平成16年台風23号 波浪災害（高知県室戸市）	写真	写真	【写真】洪水後の状況（重信川平成11年9月洪水時）	【写真】浸水状況（重信川平成10年10月洪水時）	指導上の 留意点等
写真	写真														
【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害（土砂災害 上流）	【写真】平成16年台風18号 高潮災害（香川県高松市）														
写真	写真														
【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害（土砂災害 下流）	【写真】平成16年台風23号 波浪災害（高知県室戸市）														
写真	写真														
【写真】洪水後の状況（重信川平成11年9月洪水時）	【写真】浸水状況（重信川平成10年10月洪水時）														

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
感想 (10分)	T: それでは、今日の学習を終えて、わかったことや感想を書きましょう。 ※ノート等を書く時間を設ける(10分程度)  T: 次の時間は、災害を防ぐ方法について、勉強します。		

<板書計画>

大雨がふると川ではどんなさい害が起きるのだろう


ふだんの重信川



重信川水系 重信川 右岸 5.0k  
愛媛県松山市市坪西町 (特)危険箇所

➡

大雨がふった時の重信川



重信川水系 重信川 右岸 5.0k  
愛媛県松山市市坪西町 (特)危険箇所

○ふだんの重信川はどんなところ？

- ・自然がたくさんある
- ・遊ぶところがあって楽しい

○大雨がふると、重信川ではどんなさい害が起きるだろう

- ・川の水があふれる
- ・山やがけがくずれる →山の方
- 海の方では 高しおや高波 が起こる

○もし重信川でさい害が起きたらどんなひ害があるだろう

- ・川の水があふれると、家や道路が水につかる
- ・道路が水につかると車が動かない
- ・田んぼが水につかると作物がだめになる

・重信川は美しく自然がゆたかであるが、大きなさい害を起こすことがある  
・水害はわたしたちの暮らしに大きなひ害をあたえる


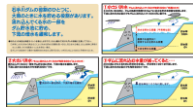


発問及び板書計画(2/3 自然さい害からくらしを守るために)

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
<p>学習課題の把握 (5分)</p>	<p>T: 今日、この映像から見ましょう。  <b>スクリーン or TV画面：“【映像】 守りきれない洪水は必ず発生する” を放映</b>  <b>※ “守りきれない洪水は必ず発生する” (MLITチャンネル) を放映 (1分40秒程度)</b></p> <p>T: これは前回の授業で勉強した、“洪水” についての映像です。川の水位が上がり、道路や家が水につかたり、川岸がこわれてしまったりしています。重信川でも洪水が起こったときの写真を、紹介しましたね。  <b>黒板貼り付け：“【写真】 洪水時の重信川 (平成 29年 9月)”</b></p> <p>T: 大きな台風がきたり、大雨が降ったりすることによって、川から水があふれると、家や道路が浸水したり、停電が起こったりするかもしれない、ということでした。では、水害の被害を減らすためにどのような取り組みがされているのでしょうか。今日の学習課題です。  <b>※ “学習課題” を黒板に書く (もしくは事前に“学習課題” を記載したマグネットシート等を黒板に貼る)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：水害を減らすためにどんなことをしているのだろう</p> </div>	 <p>【映像】“守りきれない洪水は必ず発生する”</p>  <p>【映像】“守りきれない洪水は必ず発生する “より抜粋 (関東・東北豪雨)</p>  <p>【映像】“守りきれない洪水は必ず発生する “より抜粋 (平成 28年 8月豪雨)</p>  <p>【写真】 こう水時の重信川 (平成 29年 9月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● “洪水の恐ろしさ” を伝える</li> <li>・洪水による被害の様子や被害の状況に関する映像を使って、児童に洪水の恐ろしさを伝える。</li> <li>● 1コマ目の復習</li> <li>・1コマ目で学習した“重信川での災害 (洪水)”の観点から復習を行う。</li> </ul>
<p>グループで調べる・発表する (20分)</p>	<p>T: 重信川では水害を減らすためにどんなことをしていると思いますか? 自分で少し予想してみてください。  <b>※児童に簡単に予想させる</b></p> <p>T: ではみなさん、グループになってください。水害を減らすためにどんなことをしているのか、調べてみましょう。また、水害が発生したときにはどんな人たちがどんなことをして働いているのかも調べましょう。  <b>※資料集・写真・プリントなどを参考に調べさせる。働く人々についてはプリントを参考に考えさせる。</b></p> <p><b>黒板貼り付け：“【図】 風水害の発生時に働く人びとのイラスト”</b>  <b>A4 配付プリント：“【図】 風水害の発生時に働く人びとのイラスト”、“【表】 重信川で風水害の発生時に働く人びとの仕事内よう (回答欄空欄にして使用)”</b></p> <p>T: それではみなさん、調べたことを発表してください。まず、水害を減らすためにはどんなことをしていますか。          (C: ダムをつくります。)          (C: 堤防をつくります。)          (C: 川のみまわりをします。)          (C: 堤防の草かりをします。)          (C: 川をショベルカーで掘ります。)          (C: 川の自然を守っています。)          (C: 水害が起こったときのために、水防センターがあります。)</p> <p>T: 次に、水害が起こったときは、どんな人たちが働くでしょうか? どんなことをするかも一緒に発表してください。          (C: けい 察官がひなんする人をゆうどうします)          (C: 救急隊員がけが人を運びます)</p>	 <p>【図】 こう水発生時に働く人びとのイラスト (解説書 P19)</p>  <p>【表】 重信川で風水害の発生時に働く人びとの仕事内よう (解説書 P20)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水害を防ぐための備えについて</li> <li>・土木工事以外の備えもあることに気づかせたい</li> <li>● 平常時の河川管理の説明について</li> <li>・回答が出てこない場合は先に写真を提示し、回答させることも考えられる</li> </ul>

配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
	<p>(C：消ぼう団の人がていぼうを修理します)  (C：自衛隊が人びとの救助をします)  (C：電力会社の人が電柱をしゅう理します)  (C：テレビ局の人がレポートします)  (C：公民館の人たちがひなん所のお世話をします)  (C：病院の人たちがけが人をちりょうします)  (C：ボランティアの人たちがふっきゅうを手伝います)</p>		
<p>学習の  まとめ  (10分)</p>	<div data-bbox="394 577 1979 688" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダムや堤防を作るだけでなく、普段から水害に備えている</li> <li>水害が発生したら、多くの人々が協力して働く</li> </ul> </div> <p>T：では、こちらをみてください。  <b>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：</b>  <b>“【写真】ていぼう”、“【写真】石手川ダム”</b>  <b>“【写真】ていぼうの草刈り”、“【写真】か川パトロール”、“【写真】川底を整える”、“【写真】かすみてい”、“【図】かすみていのはたらき”</b>  <b>“【写真】水ぼう訓練”、“【写真】重信川か川防さいステーション”</b>  <b>※写真や図などを児童にみせながら確認する。</b></p> <p>T：水害を減らすために、堤防や、ダムなど、ものをつくって被害を小さくしています。堤防には川の水があふれにくいようにする役目があります。ダムの役割は、洪水のときに川に流れる水の量を減らして、洪水から街を守ることです。もの（施設）を作って水害に備えることを「河川整備」といいます。</p> <p>T：次に、ふだんから行われていることがあって、川をみまわる、堤防の草刈りをする、水が流れやすくなるよう川の底を掘ったり整えたりする、などがあります。これらのことを「河川管理」といいます。</p> <p>T：そのほかに、水害が起こったときを想定して水防訓練をしたり、水防センターをつくって、水害の発生に備えたりしています。市や県は、水防センターや水防倉庫に、洪水が起こったときに被害を大きくしないために使う道具や、いざというときの食料などをたくわえています。市がつくった水防センターは、避難所の役割も持っています。水防倉庫は「ふるさと松山（上）」の8ページに写真がのっています。</p> <p>T：また、重信川では霞堤（かすみてい）や泉などの、川の自然環境を元に戻す活動も行われています。霞堤は、堤防のひとつで武田信玄が考えられたものといわれていて、重信川にはいまも9か所も残っています。</p> <p>T：そして、水害が起こったときには、いろいろな人々が働いています。ここでプリントを配ります。配ったプリントと黒板に貼り付けているイラストや写真を使って、風水害が起こった時に働く人びとについての説明をします。  <b>黒板貼り付け：“【図】風水害の発生時に働く人びとのイラスト”</b>  <b>A4 配付プリント：“【表】重信川で風水害の発生時に働く人びとの仕事内よう”</b></p> <p>T：先ほどのみなさんの発表を順にみていきましょう。  <b>※児童の発表内容をプリントで確認する。児童の発表内容にあわせ、以下を参考に補足解説する。</b></p> <p>T：イラストの中で、川の水が堤防からあふれないようにしたり、堤防がこわれないうようにするための『水防活動』をしたり、こわ</p>	 <p>【写真】ていぼう      【写真】石手川ダム</p> <p>【写真】ていぼうの草刈り      【写真】か川パトロール</p> <p>【写真】川底を整える</p> <p>【写真】かすみてい      【図】かすみていのはたらき</p> <p>【写真】水ぼう訓練      【写真】重信川か川防さいステーション</p>	<p>● <b>“ふだんからの備え”</b>  <b>について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>そのほかに公的機関が実施する平常時の備えとしては、主に市が実施する「ハザードマップの作成」「避難訓練をする」「避難所や避難場所を整備する」なども該当する。</li> </ul> <p>● <b>“風水害の発生時に働く人々の仕事内容”</b>  <b>について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「病院」「ボランティア」など、プリントにはない回答も予想されるため、必要に応じて解説を行う。</li> </ul>



配分時間	教師の発問（児童の反応）	教材	指導上の留意点等
	<p>れたところを直しているのは、水防団や川を管理する人達です。水防団とは、地域の住民で組織された団体です。災害が発生しそうな時は川の見回りをし、水防活動を行います。ふだんは災害時に備えて、水防訓練等を行っています。松山市では、消防団の人が、水防団の役割をつとめています。みなさんのまわりの大人にも消防団員の人がいるかもしれませんね。</p> <p><b>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】ひさいか所のおう急ふっきゅう”</b>      &lt;“ひさいか所のおう急ふっきゅう”の写真について&gt;      この写真は訓練のときの様子ですが、水防団の人たちが、土のうを使って、堤防の修理を行っています。</p> <p>T：他には、国の機関である気象台と国土交通省が協力して洪水予報を行います。そのため、国や県の人達はカメラで川の様子を観察しています。カメラからわかった情報はインターネットやテレビでみなさんに伝えます。</p> <p><b>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】カメラによるか川じょうほうのしゅう集”、“【写真】川のぼうさいじょうほう”、“【写真】地デジ放送によるぼうさいじょうほうのていきょう”</b>      &lt;“カメラによるか川じょうほうのしゅう集”の写真について&gt;      災害時には、堤防などに設置しているカメラで、国や県は河川の状態を収集し、市や町に連絡をします。      &lt;“川のぼうさいじょうほう”の写真について&gt;      国や県が収集した川の状態や、避難の判断に必要な情報を「川の防災情報」というホームページで提供しています。      &lt;“地デジ放送によるぼうさいじょうほうのていきょう”の写真について&gt;      テレビリモコンのdボタンを押すことで、テレビから防災情報が提供されます。</p> <p>T：また、この川の情報を受けて、市の人々が地域の人々に避難指示を発令したり、県の人々が関係機関に連絡したりします。市の人々は、避難指示を伝えるのに、拡声器で知らせたり、また室内の防災無線を受信する機械に無線を送ったり、電子メールなどを使ったりします。</p> <p><b>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】屋外のかく声器・室内の戸別受信機”</b>      &lt;“屋外のかく声器・室内の戸別受信機”の写真について&gt;      市は、国や県から連絡を受けて、屋外の拡声器や室内の戸別受信機、電子メールなどをつかって、避難情報を知らせます。</p> <p>T：このように、さまざまな人が協力してひ害を最小げんにおさえるために働いています。</p> <p>T：ところで、先ほど紹介した石手川ダムですが、実際に大雨がふったとき、このようなはたらきをしています。</p> <p><b>スクリーン or TV画面 or A3手持ち資料：“【写真】雨がふる前のダム”、“【写真】大雨後のダム”、“【図】石手川ダムの役わり”、“【写真】ダムの放流”</b></p> <p>T：写真をご覧ください。大雨がふったあと、ダムが水を貯めているのがわかるでしょうか。ダムがないと、川の上流にふった雨は、川を一気に流れ下ってしまって、下流であふれてしまう危険があります。そのようなことにならないよう、ダムで水を貯めながら、水を少しずつ川に流すこと（「調節」という）をしているのです。</p>	 <p>【写真】ひさいか所のおう急ふっきゅう</p>   <p>【写真】カメラによるか川じょうほうのしゅう集</p>   <p>【写真】インターネットでみる川のぼうさいじょうほう</p> <p>【写真】地デジ放送によるぼうさいじょうほうのていきょう</p>   <p>【写真】屋外のかく声器・室内の戸別受信機</p>   <p>【写真】雨がふる前のダム</p> <p>【写真】大雨後のダム</p>   <p>【図】石手川ダムの役わり</p> <p>【写真】ダムの放流</p>	
感想 (5分)	<p>T：それでは、今日の学習を終えて、わかったことや感想を書きましょう。</p> <p><b>※ノート等を書く時間を設ける（5分程度）</b></p> <p>T：次の時間は、わたしたちができることについて、勉強します。</p>		

水害をへらすために、どのようなことをしているのだろう

大雨がふった時の重信川



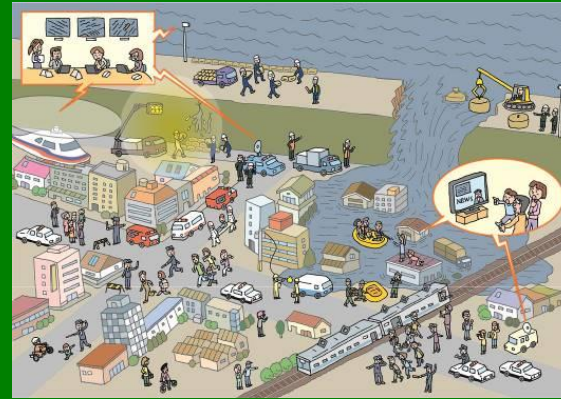
水害をへらすためにどんなことをしているのだろう

- ・ていぼうをつくる
- ・ダムをつくる
- ・川のみまわりをする
- ・ていぼうの草かりをする
- ・川をショベルカーでほる
- ・川の自然を守る
- ・水防センター

↓  
ものをつくって  
そなえる

↓  
ふだんからそなえる

水害時に働く人びと



さまざまな人びとが協力している

- ・けい察官→ひな人をゆうどう
- ・救急隊員(消ぼう)→けが人を運ぶ
- ・消ぼう団→土のうを積む
- ・電柱をしゅう理→電力会社
- ・テレビ局→じょうほうを伝える
- ・自えい隊→人びとを救助する
- ・公民館の人→ひなん所の世話をする
- ・病院→けが人をちりょうする
- ・ボランティア→ふっきゅうを手伝う

ほかにも、

- ・こう水を予想→気象台  
国土交通省
- ・関係機関に連らく→県
- ・ひなん指じを発令→市

- ・ダムやていぼうをつくるだけでなく、ふだんから水害にそなえている
- ・水害が起こったら、多くの人が協力して働く



発問及び板書計画(3/3 自然さい害にそなえてできることを考えよう)

配分時間	教師の発問(児童の反応)	教材	指導上の留意点
<p>学習課題の把握 (5分)</p>	<p>T: みなさん、これまで「自然さい害からくらしを守る」について学習してきましたが、これまでの授業について振り返ってみましょう。                  スクリーン or TV画面 or A3 手持ち資料: “【写真】洪水時の重信川(平成29年9月)”、“【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害(土砂災害 上流)”、“【写真】ていぼうの草かり”、“【写真】ひさいか所のお急ふつきゅう”                  ※これまでの授業で使用した写真等を見せながら、振り返りを行う(10分程度)</p> <p>これまで2回行った授業のまとめで、覚えていることを発表してください。                  (C: 大雨が降って川から水があふれると、わたしたちのくらしにえいきょうがでる。)                  (C: 大雨が降ると、川場所によっては土砂災害が起こったり、高潮が起きたりする。)                  (C: 水害による被害を小さくするために、ふだんから備えている。)                  (C: 水害のひ害を小さくするためにさまざまな人びとが協力している。)</p> <p>T: そうですね。重信川は普段は美しく豊かな自然を与えてくれるけれど、大きな災害をもたらすおそれがあること、また、水害が起こったらわたしたちのあらゆる生活に影響があることを1時間目に学習しましたね。                  2時間目には、水害による被害を減らすために行っていることについて、と、災害が発生したときに働く人びとについて学習しました。では、災害に備えて、わたし達自身に何かできることはないでしょうか?                  今日の学習課題です。</p> <p>学習課題: 自然さい害にそなえて自分たちができることはなんだろう</p> <p>T: 今日は、自然さい害に備えて、みなさんができることは何かを考えていきましょう。</p>	<p>教材</p>  <p>【写真】洪水時の重信川(平成29年9月)</p>  <p>【写真】平成29年7月九州北部豪雨災害(土砂災害 上流)</p>  <p>【写真】ていぼうの草かり</p>  <p>【写真】ひさいか所のお急ふつきゅう</p>	<p>●これまでの復習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡潔に1~2時間を振り返る</li> </ul>
<p>自助・共助活動について考える(10分)</p> <p>自己診断をする(5分)</p> <p>先生の話聞く(10分)</p>	<p>T: では、今までの学習を振り返りながら、自分たちにできることを考えてみましょう。                  ※今までの授業で調べたことなどから考えさせる(10分程度)                  (C: ひなん訓練やぼう災訓練に参加します)                  (C: ひなん場所を調べておくことだと思います)                  (C: ひなん道具を用意しておくことです)</p> <p>T: では、これからプリントを配ります。このプリントは自然災害のうち台風や大雨による風水害について書かれています。このプリントを参考にして、風水害が起こりそうな時、または起こった時に、わたし達自身でできることを確認してみましょう。                  A4 配付プリント: “【図】風水害に対する心がけ・きん急時の心がけ”                  ※プリントを読み上げるなどして確認させる</p> <p>T: では、実際にできているか、チェックしてみましょう。これからプリントを配ります。                  A4 配付プリント: “【図】チェック 風水害が起こっても君は大じょう夫?”                  ※【図】チェック 風水害が起こっても君は大じょう夫? を読み上げ、チェックさせる(5分程度)</p> <p>T: どうでしたか? いくつチェックが付きましたか?                  (C: 全然チェックが付きませんでした)                  (C: ●つしかチェックが付きませんでした)</p> <p>T: みなさんチェックの数が少ないようですね。みなさんは、自分が避難する場所を知っていますか? ハザードマップを使って確認してみましょう。                  黒板貼り付け or A3 配付プリント: “【図】松山市こう水ハザードマップ”</p>	 <p>【図】風水害に対する心がけ・きん急時の心がけ</p>	<p>●自助・共助活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学4年生ができることについて取捨選択させる中で実践力を高める</li> </ul> <p>●ハザードマップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に、ハザードマップの説明をする</li> <li>・校区のハザードマップを用いる</li> </ul>

配分時間	教師の発問(児童の反応)	教材	指導上の留意点
	<p>T: このハザードマップでは、みなさんが住んでいる場所から一番近い赤丸の場所が、ひなん場所ですが、どこになりますか。 (C: ●●小学校の体育館(●●中学校、●●公民館、●●保育所) です)</p> <p>T: 確認できましたか? 避難所によっては、洪水時には建物が浸水してしまって避難できないところもあるので、注意しましょう。</p> <p>T: では、ここで質問です。みなさんが、大雨が降っているなか一人で留守番しているとしましょう。テレビなどで「川の水があふれそうなのですぐに避難しましょう」と呼び掛けています。みなさんは、どうしますか? (C: 無理にひなんしません) (C: 家の二階など、高いところにひなんします) (C: ひとりではこわいので、隣の家の人と避難します)</p> <p>T: そうですね。一人で行動することは、とても危険です。川に流されてしまったり、ケガをしてしまったりしたときに、助けがやってくるまでに長い時間がかかり、命に関わる大惨事になりかねません。避難するときは、必ず複数で行動しましょう。一人のときに水害がやってきたらどうすればよいか、家の人と相談しておくとういすね。</p> <p>T: ではもう一つ質問です。みなさんは、隣の家の人や近所の人と一緒に避難することになりました。避難場所へ向かう途中で、道が浸水していました。みなさんはどうしますか? (C: あまり深くなさそうだったら、そのまま通ります)</p> <p>T: 浸水していて足元が見えない道を通ることは、マンホールのふたが開いているのに気づかず落ちてしまったり、水路に気づかず流されてしまったりすることがあるため、危ないです。遠回りになっても、高い場所を通る安全な道を選びましょう。</p> <p>T: 今日は、ハザードマップを使って避難所を確認しましたが、ほかにも安全に避難できる道を見つけしておく、非常用持ち出し袋を準備する、台風や大雨のときはテレビやインターネットなどで情報収集をする、など自分たちにできることはまだありますね。自然災害に備えて、ふだんから自分にできることを考え、実行することが大切です。</p> <div data-bbox="394 1262 1976 1318" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・自然災害に備えて、普段から自分にできること(避難経路・非常持出・情報収集)を考え、実行することが大切である</p> </div>	<div data-bbox="2101 310 2389 716" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">もしもの風水害に備えて...</p> <p style="text-align: center;"><b>チェック</b> 風水害が起こっても君は大丈夫?</p> <p>1. もしもの風水害が起こったときに備えて、避難場所を調べていますか?</p> <p>2. あなたの家から避難場所への道を知っていますか?</p> <p>3. もしも風水害が起こった時、家族がバスやバスにならないように、みんなが集まる避難場所を決めていますか?</p> <p>4. すぐに家族と連絡がとれる連絡先を知っていますか?</p> <p>5. もしも風水害が起こった時に備えて、すぐに持ち出せる避難道具を準備していますか?</p> <p>6. 避難道具は家のどこにあるか知っていますか?</p> <p>7. 自主防災組織や消防団(本部団)の取り組みを知っていますか?</p> <p>8. 避難・救助とはどのようなことか知っていますか?</p> <p>9. 上記の1-9のことを、声に出して確認していますか?</p> </div> <p style="text-align: center;">【図】チェック 風水害が起こっても君は大じよう夫? 解説書 P27</p> <div data-bbox="2041 867 2439 1150" style="border: 1px solid black; height: 135px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">ハザードマップ</p> </div> <p style="text-align: center;">【図】松山市こう水ハザードマップ 解説書 P28</p>	<p>●<b>避難行動について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもだけ又は一人で行動することの危険性を理解させる</li> </ul> <p>●<b>“洪水から命を守るための3つのポイント”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①どんな危険があるのか調べておうちの人と話あおう</li> <li>②浸水が始まる前に逃げる</li> <li>③安全に避難する方法を知っておくことが示されている。</li> </ul> <p>(国土交通省子ども向け動画「洪水から身を守るには～命を守るための3つのポイント～」より <a href="http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/movie/movie.html">http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/movie/movie.html</a>)</p>
感想 (10分)	<p>T: それでは、今日の学習を終えて、わかったことや感想を書きましょう。 <b>※ノート等を書く時間を設ける(10分程度)</b></p>		

自然さい害にそなえて自分たちにできることはなんだろう

ハザードマップ

○自分たちにできそうなこと

- ・ひなんくんれん
- ・ひなんする場所をかくにんする
- ・ひじょう用持ち出しぶくろを用意する
- ・テレビでじょうほうを集める
- ・ひなんするときにお年寄りや小さい子の世話をする
- ・ひなんを近所によびかける

ハザードマップ

○ハザードマップでひなん場所をかくにんしよう

※ひなんするときは

- ・ひとりで行動しない
- ・高い場所にある道を通る

自然さい害にそなえて、ふだんから自分にできるそなえを考え、実行することが大切